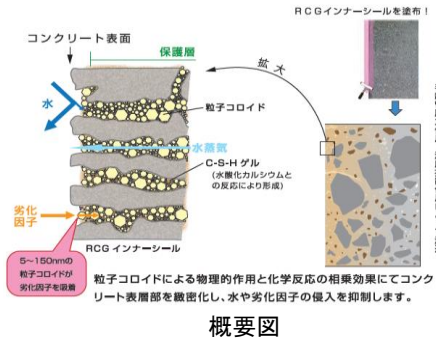


## ① 技術概要・概要図

### 【技術概要】

新設・既存のコンクリート表面に塗布して、表層部に含浸させることによって、C-S-Hゲルを生成するとともに粒子コロイドの効果により細孔を緻密にして、水や劣化因子の侵入を防ぎ、耐久性を向上させる技術である。また、退色性着色材(α工法)を付与することで目視または写真による施工確認が可能である。施工は、コンクリート表面が指触で湿り気状態または湿潤状態で施工可能であり、塗布作業も1度のみである。



## ② 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和4年度
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所
事業名	重要港湾尾道糸崎港湾改修工事(山波地区PBS)
対象地	広島県尾道市
工期	令和4年12月～令和5年11月
数量	本体工(ブロック式)N=3基、上部工V=285m3 等

## ③ 活用に至った現場条件や経緯

- 防波堤の新設に伴い、施工部のカーテン版は上部コンクリートに比べ、塩害等による劣化の懸念があった。
- カーテン版は上部コンクリートに比べ、経年劣化した場合の維持修繕が難しく費用が掛かる。

## ⑤ 活用状況写真



施工前



塗布状況

## ④ 活用効果(本事例における効果)

- C-S-Hゲル、粒子コロイドによるコンクリート内の細孔の緻密化により、無塗布に比べ、塩化物イオン等劣化因子の侵入を抑えることができ、耐久性が向上した。
- 退色性着色材(α工法)、塗布量確認シートの使用により、均一な塗布作業が可能となり、施工品質が向上した。
- 施工が1回塗りの為、従来工法に比べ、施工費縮減、工程短縮を図ることができた。



施工後



塗布量確認シート施工状況